

# ● 京都式農福連携プロジェクト



京・都・の・幸・せ・を・創・り・た

✿ 京都府

きょうと農福連携センター

# ◎ 京都式農福連携プロジェクト は、京都の幸せを創ります。



今、地域の農業の現場で生き生きと働く人がいます。人にはまねできないような集中力で、小さな実を一つ一つ丁寧に摘み上げていく人がいます。その地域で誰でも知っている特産品を製作している人がいます。普段おしゃべりしているコミュニティカフェやおしゃれなレストランで素敵な時間を提供している人がいます。

障害のある人もない人も、自分たちの個性や才能を生かして、働く喜びを感じています。

そして、一緒に働く仲間たち、福祉事業所、企業、研究機関など、私たちに多くの仲間が集まりました。

私たち京都府は、人々がそれぞれの能力を生かして、お互いに助け合い、全ての人々が笑顔になる。そんな未来が実現できることを知っています。

農福連携は障害者の可能性を広げ、みんながより幸せになれる地域社会を創造していきます。

それが、京都式農福連携プロジェクトです。



京都式農福連携プロジェクトは、‘食’ と ‘美’ そして ‘リラクゼーション’ を提供します ..



● 2011年10月、「リフレかやの里」は地元の要請により町の指定管理を受けて開設された福祉施設。  
 森と鳥の鳴き声に囲まれた総面積622平方メートルの広大な敷地に、「リフレかやの里」は森のレストラン・森の宿（ホテル）・大きなお風呂などのリラクゼーション・スペースを提供しています。  
 特に人気が高いのが森のレストラン。地元の新鮮な食材を活用したランチビッフェは、多い日は100名以上のお客様を迎えています。さらに「リフレかやの里」は、パン・ケーキ工房でパンやケーキを製作・提供しています。  
 また地元の期待に応じて、農産加工所ではジュース・ジャム・缶詰などの食品加工を手掛けており、地元企業や農家からの依頼も多く、小ロットでも製作可能なので、多くの依頼が絶えません。この他にも、玉ねぎ・ジャガイモ・人参などの農作物も栽培していて、主に京都北エリアへ出荷しています。  
 「リフレかやの里」は、2011年設立以来一貫して「地域とともに歩んできた」と語るのは、管理者の藤原さゆりさん。毎日、多くのお客様を迎え、食品加工と農業を通じて地元との連携を進め、地元の人たちに喜んでもらっている。  
 京都式農福連携プロジェクトが目指す地域共生社会「京都の幸せ」が、京都府北部の与謝野町にあった。

▲リフレかやの里



▲ワークショップサクラティエ  
 地元綾部高校生が栽培した「鹿ヶ谷カボチャ」を使用したクッキーや栃の実チョコ「老當」の製造をしています。赤ちゃんからお年寄りまで笑顔に。「絵本カフェ」も併設しています。



▲もくもくvillage  
 舞鶴湾を眺める舞鶴 21 内に、自家野菜を使ったランチを提供するカフェで、障害のある方々がスタッフとして働いています。またカフェ横の地域交流スペースも楽しくにぎわっています。



▲花音  
 「花音」は、“思いが花咲く場になるように”という願いが込められた新しい福祉施設です。人気のカフェに加え保育施設を提供し、働く女性を応援し地域に貢献しています。

京都北エリアのポイント

北サテライトのリフレかやの里は、地元の農家が生産した農作物を活用した食品加工・ランチなどを地域へ提供することにより、地域との共生を進めています。



◀しぜん塾やぎ農園

しぜん塾やぎ農園は「家族のように助け合って生きていこう」のメッセージのもと、RURIやフェルミエなどのチーズや乳製品・農業加工品を提供し、毎年恒例の収穫祭には多くのお客様が集まります。



▲LINK'S

「ブルーベリー農園」と「丹波栗農園」の運営のほか、菜の花、黒枝豆、スナップエンドウなどの京野菜を農薬不使用で栽培し、高品質の農産物を提供することにより地域に貢献しています。

京都中エリアのポイント

中エリアでは、京都丹波地域の農福連携推進協議会を中心に地域が連携して、マルシェの共同開催や農業技術の研修などの地域連携を進めています。

ヴァレージれん▶

地域の若手農家さんの指導を受けて、厳しい審査のある有機 JAS の認証を取得した、体に優しい野菜を障害のある方が一緒に作っています。地域の健康づくりに貢献しています。



ぬくもり京都丹波フェスタに  
きょうと農福連携センターが参加

プロジェクトは、京都の幸せと美味しいものをいっしょに推進しています。地域密着型サポートで、京都式農福連携プロジェクトを推進しています。



▲亀岡福祉会

1978年設立の「亀岡福祉会」は地域に3つの事業所があり、農業や「パウンドケーキあそび」など加工食品の製造の他、地域からの依頼による委託業務などで亀岡市民のために貢献しています。



▶城山共同作業所

「城山共同作業所」は、南丹市八木町の福祉施設。椎茸・黒枝豆・大玉ニンニクなど高品質で安心安全な農産物を生産・供給し、地域に貢献しています。

▼たのしくはたらく▼

「たのしくはたらく」は、亀岡市東本梅町で京ブランドなどさまざまな野菜を栽培し、京都の皆様へ提供しています。特に黒豆や鷹の爪は人気です。



●中サテライト「京都」

丹波地域農福連携推進協議会「は、京都中エリアの福祉事業所が地域で連携して京都式農福連携プロジェクトを推進しています。

▼ハーモニージョブズ

中サテライトの事務局は、この地域で40年以上の実績のある社会福祉法人亀岡福祉会で、南丹保健所の協力を得て協議会の運営とプロジェクトの推進を進めています。

農福連携推進協議会は、地域の発展やプロジェクトの推進を目的に農業技術の情報交換や地元でのマルシェやフォーラムの開催の他、福祉事業所からの要請があれば、亀岡福祉会の作業所の設備を利用し食品加工も請け負っています。

また、地元の農家からニーズに応じて農作業や草刈りなどの仕事を行っています。

京都式農福連携プロジェクトが目指す地域共生社会「京都の幸せ」は、京都丹波地域で地域密着と地域連携により着実に進んでいます。







京都式農福連携プロジェクトは、高品質の「京野菜」を提供します..

●「さんさん山城」は地域に根差した事業所を目指し、2011年に設立されました。開所当初から、「京都宇治茶（抹茶の元となるてん茶）」「京都えびいも」「京都田辺茄子」など、地域特産品を栽培し、生産から加工、販売まで、6次産業化に取り組んでいます。

地域の人たちに地元の特産品を食べてほしいという思いから、2017年6月、事業所内に「さんさん山城コミュニティカフェ」をオープン。さんさん山城で栽培した野菜をふんだんに使用したワンコインランチは毎日盛況です。

また、地元農家、地域の福祉事業所、行政、企業、大学なども



さんさん山城▲

巻き込んだ「ノウフクマルシェ」を毎年主催するなど、地域活性化にも大きく貢献しています。

「さんさん山城」の取組は、2015年農林水産省「農福連携特別展示」においてモデル事業所選出、2017年農林水産省・近畿農政局より「近畿『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』（第1回）」受賞、2019年ノウフクJASの第1号認証を受けるなど、各方面から高い評価を受けています。

「京都式農福連携プロジェクト」は、地域に密着した「共生社会」の発展と京都府民の幸せを目指しています。

▼工房あんじゅ

自社栽培の安全な野菜と地元の食材を活用したフランス料理店の経営をしています。工房でも、天然酵母パンや無添加スイーツを製造して「安心・安全」にこだわった食の提供をしています。



▼宇治原むく福祉会

毎日生き生きと「働くこと」を大切に、採れたて野菜を出荷しています。また、宇治原町で採れた「つるの子柿」を使用した風味豊かな柿酢を生産・販売しています。



▼七彩の風

静原の緑豊かな自然の中で「個」や「和」を大切に、新鮮な野菜や卵とお菓子を作って京都の皆さまへ提供しています。七彩明しずたまは京のこだわり畜産物生産農場に登録されました。

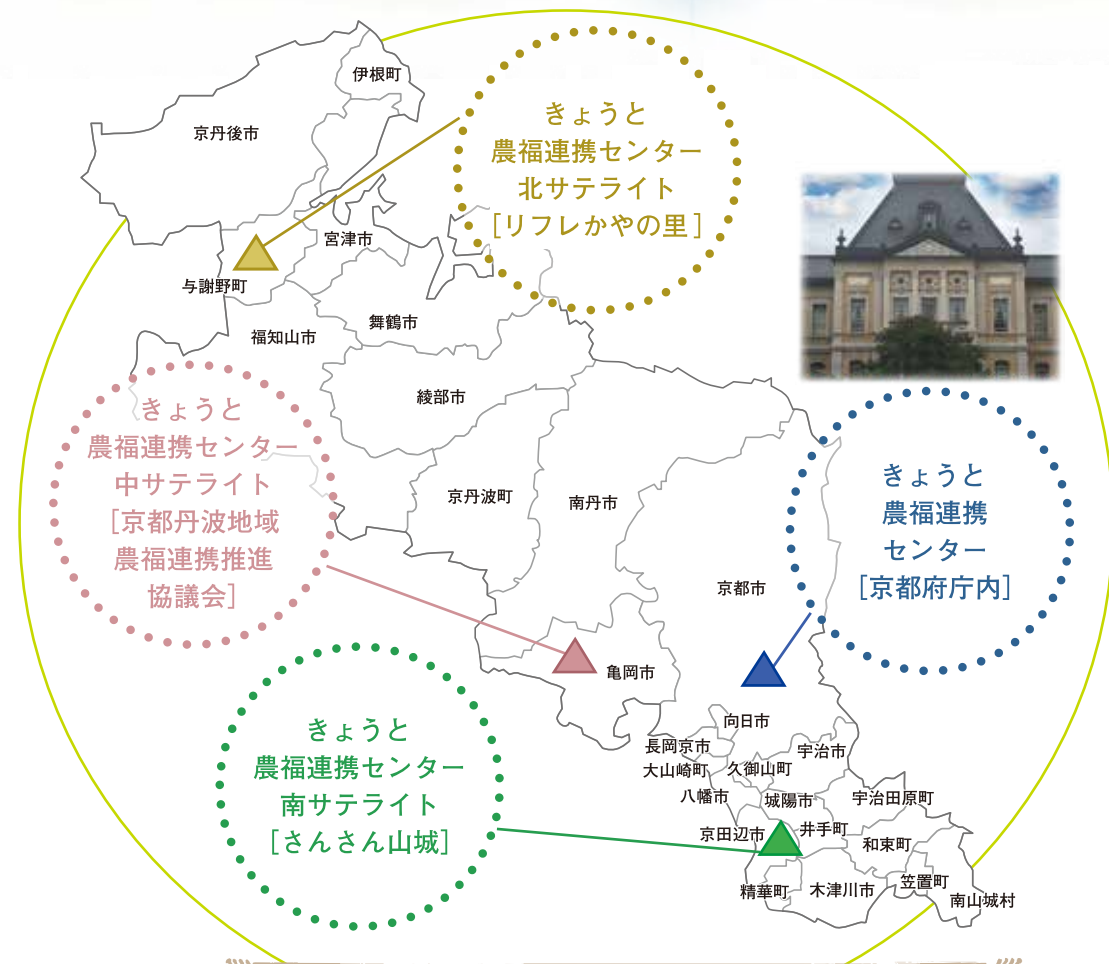


京都南エリアのポイント

南サテライトのさんさん山城は、地元特産の高品質の農産物を生産し、農産物の販売やランチ、マルシェへの参加などによって地域への貢献を進めています。



# 京都府では京都式農福連携プロジェクトを軸に、多種多世代の人々が地域の担い手となる地域共生社会づくりを進めています。



- ### ◆ 農福連携の普及促進
- ぎょうと農福連携センターとサテライトが中心となって、イオンモールや府内各地域のイベントでのマルシェの開催などを通じて農福連携の普及促進を行っています。
  - 商工業や観光業など、様々な産業と連携した事業のコーディネートや、府内の大学と連携した農福連携の普及の取り組みなど、京都式農福連携プロジェクトを進めています。



- ### ◆ 福祉事業所への活動支援
- 福祉事業所に対し、農業改良普及センターによる農業技術の指導を行うとともに、地域づくり、障害者の就労支援や経営支援の専門家によるアドバイザーの派遣を行っています。



- ### ◆ 福祉事業所への補助
- 農福連携に新たに取り組む福祉事業所や、障害者の社会参加の促進や6次産業化等に取り組む事業所に対する補助金制度を創設し、ビニールハウスなどの農業施設や、農産加工設備などの整備を行うとともに、農福連携による製品の開発やマルシェの開催などへの支援を行っています。



- ### ◆ 障害者への農業講座の開催
- 土づくり・植付から収穫・販売までの基礎を一通り学ぶとともに、障害者の農業への適性の見える化を図る「チャレンジアグリ認証制度」を創設し、障害者への就農を支援しています。
  - タキイ種苗株式会社と連携協定を締結し、その御協力により、「チャレンジアグリ認証制度」における障害者への指導を行うとともに、福祉事業所の支援員へのアドバイスを行っています。

京都府では京都式農福連携プロジェクトを推進し、地域の農業に貢献するとともに、障害者の就労を促進し、地域の多種多世代の人々が地域の担い手を育む地域共生社会づくりに取り組んでいます。

平成 29 年 5 月健康福祉部門と農林水産部門が連携して「ぎょうと農福連携センター」を設立するとともに、北部、中部、南部の各地域にサテライトを設置し、民間企業や大学等とも連携し、地域の特色に応じた展開を行っています。



## 京都式農福連携プロジェクトのお問い合わせは

### きょうと農福連携センター

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町  
京都府 健康福祉部 障害者支援課内  
TEL：075-414-4596 FAX：075-414-4597

### 北サテライト [リフレかやの里]

〒629-2421 与謝郡加悦町金屋1730  
TEL：0772-43-1730 FAX：0772-43-1733

### 中サテライト [京都丹波地域農福連携推進協議会]

〒621-0033 亀岡市蕨田野町佐伯大門30-1  
社会福祉法人亀岡福祉会 法人事務センター  
TEL：0771-24-2596 FAX：0771-24-2597

### 南サテライト [さんさん山城]

〒610-0332 京田辺市興戸小モ詰18-1  
TEL：0774-39-7113 FAX：0774-65-4102

京のノウフク

検索



京のノウフクWebサイト：<http://www.kyo-noufuku.com/>

---